



2025年10月31日

各 位

会社名 明海グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 内田 貴也
(コード番号 9115 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 高橋 あゆ子
電話番号 (03) 3792-0811

営業外費用・特別利益の計上及び第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における営業外費用と特別利益の計上及び、2025年5月15日に公表した2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、同日に公表した通期連結業績予想も修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用・特別利益の計上

為替相場の変動により、2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)において、営業外費用に為替差損1,434百万円、デリバティブ評価損628百万円を計上することとなりました。これは主に、外貨建債務の評価及び、為替予約の時価評価により生じたものです。

また第2四半期に船舶1隻を売却し、第1四半期に売却した船舶2隻とあわせ、特別利益に船舶売却益9,184百万円を計上することになりました。

2. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 29,100	百万円 1,600	百万円 900	百万円 3,400	円 銭 100.20
当期実績 (B)	29,864	2,962	357	2,816	82.96
増減額 (B-A)	764	1,362	△542	△583	—
増減率 (%)	2.6%	85.2%	△60.2%	△17.2%	—
(ご参考)前年同期実績 (2025年3月期中間期)	32,899	5,465	2,077	775	22.95

3. 2026年3月期通期 連結業績予想値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 57,200	百万円 3,000	百万円 2,100	百万円 4,400	円 錢 129.67
今回修正予想 (B)	57,800	3,000	600	3,300	97.20
増減額 (B-A)	600	0	△1,500	△1,100	—
増減率 (%)	1.0%	0.0%	△71.4%	△25.0%	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	67,544	11,014	9,131	2,812	83.11

(修正の理由)

① 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異について

当初想定為替レートを1US\$=135円としていましたが、想定より円安で推移したこと等により売上高は増加しました。費用面では、為替円安の影響を受けたものの、船費の減少もあり、営業利益も前回発表予想を上回ることとなりました。一方、営業外損益については、前述1.の為替差損、デリバティブ評価損の計上があり、経常利益、親会社株式に帰属する中間純利益は予想を下回ることになりました。なお、前述1.の3隻の船舶売却益は前回発表予想に織り込み済です。

② 通期連結業績予想の修正について

為替レートが円安に推移していること等により、売上高は予想を上回る想定としています。費用面においても、為替円安の影響を受ける一方、船費の減少を見込み、営業利益は前回発表予想を据え置きとしています。営業外損益においては、持分法による投資利益の増加を見込むものの、中間期同様、為替差損、デリバティブ評価損の計上を想定し、経常利益は予想を下回る想定としています。また、第2四半期までに売却した船舶3隻に加え、第3四半期に1隻を売却し(前回発表予想に織り込み済)、合わせて特別利益に99億円を計上予定としていますが、経常利益段階での予想比減少もあり、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を下回る想定としています。

以上